

平成 29 年度 第 14 回 北海道小学生学年別柔道大会 要項

- 1 目的 : わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指すとともに、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 日時 : 平成 29 年 5 月 28 日 (日) 午前 9 時 30 分 開会式
- 3 会場 : 北海道立野幌総合運動公園 体育館
〒069-0832 江別市西野幌 481 番地 Tel 011 (384) 2166
- 4 主催 : 一般社団法人 北海道柔道連盟、北海道新聞社
- 5 主管 : 札幌柔道連盟
- 6 参加資格 : (1) 全日本柔道連盟 (平成 29 年度) に登録 (監督・選手) をする者。

※ 同一所属から複数出場する場合の監督は兼務することは出来ない。

- (2) 種別及び体重区分は次の 8 通りとする。

	男子	女子
<u>5 年生</u>	45 kg 級	40 kg 級
	45 kg 超級	40 kg 超級
<u>6 年生</u>	50 kg 級	45 kg 級
	50 kg 超級	45 kg 超級

- (3) 選手の年齢区分は次の通りとする。

① 小学 5 年生の部 : 平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれた者

② 小学 6 年生の部 : 平成 17 年 4 月 2 日以降に生まれた者

※但し、帰国子女等についてはこの年齢制限を適用せず、学年齢による種目に出場できる。

- (4) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに学校の承諾を得ること。
- (5) 監督は全日本柔道連盟公認指導者資格を有していること。
- (6) 監督は必ず一般社団法人北海道柔道連盟指定の公認指導者資格 I D カードを携帯すること。
- (7) 皮膚真菌症 (トングランス感染症) について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

- 7 試合方法 : トーナメント戦で行う。

(1) 国際柔道連盟試合審判規定 (2017~2020) による。

(2) 国際柔道連盟試合審判規定の国内における「少年大会特別規定」による。

(2) 試合時間は 2 分間とする。ただし準々決勝以上から 3 分間で実施する。

(3) 勝敗の決定基準は、「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少な

い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

指導の差 1 の場合は旗判定で勝敗を決する。(GSは行わない)

(「指導」数によって勝敗が決する例=0対2)

(「指導」数に差が出て判定になる例=0対1、1対2)

(※全国大会においては、全試合すべて3分間となっています。)

8 ゼッケン : (1) 参加選手はゼッケン(名字、所属名入り)を柔道衣に取り付けること。

(2) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。

布 地	白色
サ イ ズ	横 30cm~35 cm × 縦 25 cm~30 cm
文字位置	苗字は上部 2/3、所属名(都道府県名)は下部 1/3
書 体	ゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
縫い位置	後ろ襟から 5cm~10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける

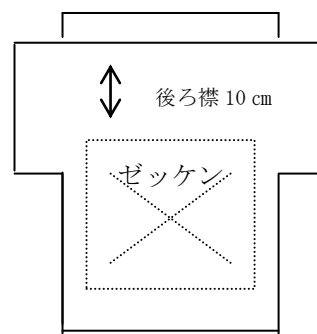
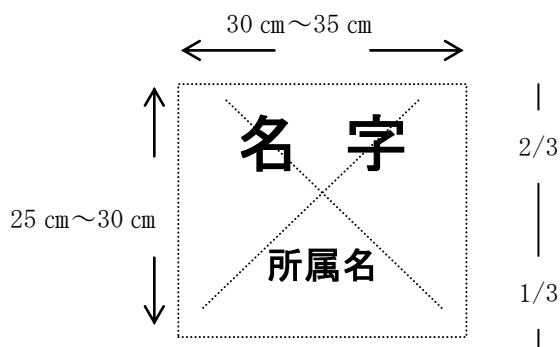
例図1 ゼッケンの文字位置・サイズ

例図2 ゼッケンの縫い位置

(3) 柔道衣に関しては、現在着用しているもので可。

(4) 小学生については、最小数値より小さく大会運営規則を定めることができる。

(5) 全国大会に出場する選手は、各自ゼッケンを用意すること。



9 表 彰 : (1) 各種別の優勝、準優勝、3位(2名)までの者を表彰する。

(2) 各種別の優勝・準優勝者を下記大会に北海道代表として派遣する。

「平成29年度 第14回 全国小学生学年別柔道大会」

日時・8月20日(日) 北海道立総合体育センター・メインアリーナ

主催：公益財団法人全日本柔道連盟

10 体重測定 : 午前8時20分~午前8時50分までの間行う。

11 審判会議 : 午前9時00分~9時10分より大会場で行う。

12 監督会議 : 午前9時10分~9時20分より大会場で行う。

12 申込方法 : 参加申込者は所属する柔道連盟(協会・会)に申込み、各加盟柔道連盟(協会・会)は所定の申込用紙(会長印付)に記載し**参加料をゆうちょ銀行より振り込み** 要項の**6・参加資格(1)**を確認の上、**4月28日(金)必着**で札幌柔道連盟事務局迄に申込みをすること。(記入例を参考にする)

(Faxは不可) 〒003-0027 札幌市白石区本通5丁目北1-7 ルーベダンス半田203号

TEL 011(376)1677 Fax 011(376)1688

※ 例年記入もれがありますので、記載事項については全て見落としなく記入の上、送付ください。

振込先

ゆうちょ銀行

口座記号番号 02700-5-48989

口座名 札幌柔道連盟

サッポロジュウドウレンメイ

13 参加料 : 1名 2,000 円

14 傷害保険 : (1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。

(2) 参加者は、健康保険証を必ず持参すること。

(3) 主催者は、大会中の不慮の負傷・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

15 抽選会 : 5月16日(火)午後6時00分～ 於 一般社団法人 北海道柔道連盟 事務局で行う。

16 その他 : (1) 大切な成長過程にあることを重視し、減量を行ってはならない。

(2) 試合場におけるコーチの振る舞いについて

コーチの役割

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。

2. コーチは、自分の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。

2. 伝統的にコーチを認めていない大会(全日本選手権大会など)においては、主催者の判断による。

コーチの言動

1. 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。

2. 次の行動を禁止する。

① 試合が続行している最中に指示を出すこと。又、試合中に立ち上がること。

② 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。

③ 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為

④ 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。

⑤ その他、柔道精神に反する。

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科するものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。

2.1 回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。

3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

(3) 「脳震盪」に関する扱いは以下のとおりとする。

①大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4) 交通機関の利用について

会場が運動公園内にあります。交通案内図を参考にしてください。

公共交通機関のバスを利用の場合は、申込用紙の下にその旨記入ください。

17 問合せ先 : 札幌柔道連盟 事務局

〒003-0027 札幌市白石区本通5丁目北1-7 ルーベダンス半田203号

Tel 011 (376) 1677 Fax 011 (376) 1688

*振込記入例

ご 依 頼 人	ご 住 所	
	漢 字 名	① 札幌柔道連盟 ② ○○○○少年団 ③ 振込者氏名を記入

① 個々に申込みをする場合は必ず連盟・協会・会・名を記入すること。

② 必ず少年団名を記入すること。

③ 忘れずに申込氏名を記入すること。